

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 和田 一広	
環境-22	名越クリーンセンター管理運営事業	■ 自治事務	主管課	環境センター
		□ 法定受託事務	関連課	環境施設課
総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-①3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。	
・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	名越クリーンセンター維持管理事業	光熱水費、施設維持等消耗品費等	—	— / —	—	—	—
				185,164 / 248,840		4,144	
02	名越クリーンセンター維持修繕事業	焼却炉維持修繕	計画停止を除く施設停止日数をゼロとする。 (%)	85 / 100	100	100	85%
				81,530 / 76,455		500	
03	焼却施設、粗大ごみ処理施設運転事業	焼却設備、破砕機等運転管理業務委託料	目標平均処理量以下の日数をゼロとする。 (%)	100 / 100	100		100%
				110,990 / 122,606			
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	92,069 / 49,229	19		
			一般財源	285,615 / 398,672	4,625		
		事業費の合計(千円)		377,684 / 447,901	4,644		
		人件費(千円)			19,663	10,671	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	4.0	4.0	4.0	4.0	2.5	1.25
会計年度任用職員	7.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	名越クリーンセンター維持管理事業	施設を適正に運営するための維持管理であり、指標の設定は困難である。	ごみの適正処理のためには、施設の適正な維持管理が必要である。	施設自体は閉鎖となったが、敷地内を敷地境界線上の植栽等、適切に管理しなくてはならない。
02	名越クリーンセンター維持修繕事業	経年劣化により、焼却炉緊急修繕を2回実施し計31日間の停止をした。これにより85%の達成率となった。	ごみの適正処理のためには、施設の突発故障に対応する必要がある。	敷地内外の防犯カメラ等の維持管理を適切に実施していく。
03	焼却施設、粗大ごみ処理施設運転事業	焼却施設運営を適切に行うことにより、日々発生するごみを安定的に処理し、目標を達成した。	ごみの適正処理のためには、施設の適切な運営が必要である。	焼却設備等停止し閉鎖したため業務完了。
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☐ 現状維持	☒ 縮小	☐ 休止・廃止
令和7年(2025年)1月25日の焼却停止により、焼却施設としての運営は終了し、速やかに中継施設整備事業への周辺環境への影響を見据え、適正に運営するための必要な維持管理を行う。 今泉クリーンセンターと施設機能の統合を図ることによる効率化を検討する。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--